

玉村町 文化財通信

2024年1月5日発行

(次号2月発行予定)

第21号



～らよっとそこまで古探訪～



玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol. 20

画:竹内颯太

今月のどうぶつ散歩は、「宮中年中行事絵巻」に描かれているニワトリです。「宮中年中行事絵巻」とは、平安後期の宮廷、公家における年間の行事や祭礼、法会(ほうえ)や民間の宗教上の風俗など、年中の行事を集めて描いたものです。

歴史資料館に展示してある絵巻は、「白馬節会(あおうまのせちえ)」・「左義長(さぎちょう)」・「鶴の包丁」・「踏歌節会(とうかせちえ)」・「闘鶏(とうけい)」・「新嘗祭(にいなめさい)」・「内侍所御神楽(ないじどころのみかぐら)」の七つの場面が描かれています。「右京大夫祥光(うきょうのだいぶさちみつ)」による跋文(ばつぶん)(あとがきのこと)から参議に列した北小路祥光が右京大夫となった寛政8年(1796)から文政2年(1819)の間に作られたものと思われます。

展示してある場面は「闘鶏」です。「闘鶏」とは、雄鶏を蹴り合せて勝負させる遊戯で、奈良時代に唐から伝わり、平安時代以降に遊技として流行しました。宮中でも、旧暦3月3日に行われ、年中行事となっていました。絵巻には、勝負する闘鶏の有様に左右に分かれて見守っている人々の緊張した姿が見られます。また手前には、次の闘いの出番を待っているのか、紐で繋がれた鶏を見ることができます。

ニワトリは、縄文時代の遺跡からは骨が出ていないので、弥生時代に日本にもたらされたと考えられています。弥生時代から古墳時代にかけて、遺跡から出土したニワトリの骨は、ほとんどが雄のものでした。雄鶏が多く飼われていたのは、ニワトリが肉や卵などをとる食料としてではなく、時を告げるための生きものだったからです。また江戸時代では、獣肉より鳥肉が好まれ、鶏肉はほとんどが野鳥でした。江戸時代前期の料理書『料理物語』には、18種の鳥の料理方法や食べ方が紹介されていて、野鳥17種に続いて18番目にニワトリが載っていました。



ⁱ 参議は、日本の調停組織の最高機関である太政官の官職の一つ。宮中の際に参議するという意味で、朝政の議政官に位置する。

重田家住宅

～公開・活用にむけて②～

この度、樋越にある五常工業(株)様より、重田家住宅主屋内3カ所と重田家住宅に付随する新宅(現在は主に地域協力隊の活動拠点)内1カ所の合計4カ所の水洗トイレをご寄贈いただきました。

新品に交換していただきましたので、使いやすくなったトイレをご利用ください。

(重田家住宅管理担当者)



今年度通常公開情報：平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00～16:00(最終入館は15:30まで)なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。

令和5年度玉村町歴史資料館ミニ企画展 第14回

昔の道具展『見て！見て！昔の道具たちを』

開館期間：令和6年1月6日(土)～4月7日(日)

開館時間：午前10時～午後4時

休館日：毎週月曜日・火曜日・水曜日

1月7日(日)、2月11日(日・祝)・23日(金・祝)

入館料：無料

関連行事：教育紙芝居で歴史を学ぼう

開催日時 令和6年2月17日(土)・3月2日(土)

午前10時30分から30分間

申込み：不要

会場：文化センター 2階 研修室3

講師：玉村町図書館協議会委員 片亀 歳晴氏

参加費：無料

玉村中学校職場体験レポート

12月5日(火)～7日(木)の3日間、玉村中学校2年生の生徒3名が文化財係へ職場体験に訪れました。重田家住宅での清掃作業を中心に取り組みました。

感想

2年 井上 陽翔 君

「職場体験の三日間、ほとんどが重田家住宅の掃除、片付けでした。重田家住宅では、草むしりやイルミネーションの掃除などをしました。三日間、仕事を続ける大変さと、そのあとの達成感を学ぶことができました。三日間、貴重な体験をありがとうございました。」

2年 竹内 颯太 君

「今回の職場体験では、仕事をするうえでの忙しさや、楽しさ、達成感などを学ぶことができました。ふだん入れないところや行ったことがないところに行くことができ、とても貴重な体験になりました。」

2年 渡邊 結和 さん

「私はこの職場体験で今まで興味をもてなかった歴史のことや重田家を知れました。歴史のことについてまとめたりしながら仲間と学んでいくことができ、貴重な体験になりました。この体験で学んだことをこれから意識しながら生活で生かせたらいいと思います。」

3日間大変お疲れ様でした！



こんなにきれいになりました！



(写真左から 渡邊さん、井上君、竹内君)

1/27
(土)

歴史資料館ミニ企画展「昔の道具展」関連行事

石臼でお米をひいてすいとんを作ろう！

石臼を実際を使ってお米を粉にし、「すいとん」を作ります。重田家住宅で昔のくらしを体験してみませんか？

【開催時間】午前10時～正午

【対象】小学生（※3年生以下は保護者同伴）

【場所】国登録有形文化財 重田家住宅
(玉村町小泉42番地)

参加無料

【定員】先着16名

【持ち物】エプロン（汚れてもよい服装）

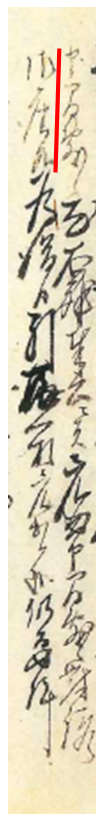
申し込み受付中です。電話または窓口にて。

申し込み・問合せ：玉村町生涯学習課文化財係
0270-30-6180

古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「女子引取一札」を毎回少しずつ読んでいきます。

第二一回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文：尤右躰奉公二者差出申間敷対談二御座候、読み方…もつともみぎていほうこつにはさしだし申しまじくたいだんにござさうろう、

現代語訳…ただし、右に述べた奉公には差出し申さず、対談にございます、

(次号へ続く)

○玉村町誌別巻Ⅳ（三右衛門日記一）と別巻Ⅷ（三右衛門

日記五）歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

